



平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖
(コード番号 1914 東証 第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 尾 崎 克 哉
(TEL 03 - 5365 - 2500)

特別損失(個別)の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 3 四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

第 3 四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する、関係会社貸倒引当金繰入額 848 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績予想との修正

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,000	百万円 60	百万円 160	百万円 100	円 銭 3.54
今回修正予想 (B)	22,200	340	490	50	1.81
増減額 (B—A)	1,200	280	330	△50	—
増減率 (%)	5.7%	466.7%	206.3%	△50.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	21,057	△305	△167	△895	△31.68

平成 30 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,000	百万円 600	百万円 △90	円 銭 △3.19
今回修正予想 (B)	20,500	1,330	150	5.43
増減額 (B—A)	1,500	730	240	—
増減率 (%)	7.9%	121.7%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	18,037	909	△885	△31.33

3. 修正理由

(通期の個別業績予想)

個別業績につきましては、手持ち工事の進捗が想定を上回り、売上高は前回予想を 1,500 百万円増加の見込みです。また原価低減を進めたことも奏功し、経常利益も 730 百万円増加する見込みです。

また、特別損失として貸倒引当金 848 百万円を計上いたしますが、当期純利益は前回予想を 240 百万円上回る見込みです。

特別損失に計上する、848 百万円は、米国子会社 JAFECUSA において当期発生した損失額を貸倒引当金計上するものです。

また、前期末に引当てた貸倒引当金 508 百万円および前述の 848 百万円に対して親会社である当社が全額増資による資金手当を既の実施し、債務超過を解消したことにより米国子会社の財務面での強化がなされました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

(通期の連結業績予想)

個別業績が前述の経常利益の大幅な好転、当期純利益の黒字計上とともに、国内関連会社の利益伸長により、通期連結業績では、営業利益で 280 百万円、経常利益で 330 百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益で 50 百万円減少したものの、50 百万円の利益を計上する見込みとなりました。

来期以降、国内での利益確保、米国子会社での営業体制強化によりグループ全体の業績回復に努めてまいります。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上